

「児童一人ひとりが輝くために。」

特集1

小規模特認校

西小、豊田小の取り組み



ボランティアの指導による自然観察／西小学校



A L Tによる英会話指導／豊田小学校

今年4月から西小学校と豊田小学校が小規模特認校としてスタートしました。両校とも、近年の少子化傾向により、入学者が減少するなか、児童数の少ない小規模校のメリットを最大に生かし、さまざまな教育活動に取り組んでいます。間もなく、来年度の入学準備が始まります。小規模特認校は、学区を越え、市内全域から通学できるしくみで、今年度、西小には、同小学区外から二人の児童が就学しています。小規模特認校への就学は、年間を通し受け付けておりますので、ぜひ教育委員会教育総務課までお問い合わせください。

今号では、「児童一人ひとりが輝くために」両校が取り組む教育活動の様子を紹介します。

◆就学の条件

- ①矢板市に居住していること
 - ②小規模特認校が実施する教育活動に賛同し、協力すること
 - ③小規模特認校を卒業するまで通学すること
 - ④保護者の責任と負担において、児童が安全に通学できること
- ※市では、4km以上の遠距離通学となる児童の通学費について、保護者の負担を軽減するために補助金を交付しています。

◆問い合わせ／

教育総務課 ☎(43)6217

豊田小学校

体験！たくましさや心と夢を育てる学校
英語が話せる学校 少人数指導



◆階段にも英語の数字を貼っています



◆豊田っ子ふれあいスクールでは、児童の放課後をサポートします



◆毎日ドリルの時間を設け、複数の教員が児童ひとり一人の基礎学力を伸ばします



◆年間を通して持久走を、持久力・体力の向上を

「豊田だけの っておきの豊かな学び」



黒川 保二 校長

豊田小の特徴は、大きくは二つ。一つは、豊田だけのとおきの豊かな学びです。その代表が、年間全学年35時間の英語授業と週4回の朝の「イングリッシュタイム」などを通して充実した英語教育です。授業はすべて英語。日常で英語を話す環境が整い、英語に対する関心が高まり、全ての児童の英語の上達につながっています。また、少人数指導の特性を生かした複

一人一人が主人公

1. 全学年、希望者全員、学童保育（豊田っ子ふれあいスクール）
2. 英語を話せる子どもを育成
1年生から1日15分間、朝のイングリッシュタイムで毎日のように英語を学習します。6年間の指導で英語が話せる子をめざします。
3. 少人数指導で基礎学力の伸長
少人数だからできます。毎日ドリルの時間を設け、複数教員で徹底した指導、一人一人の基礎学力を伸ばします。
4. 持久力・体力をつける学校
1年間を通して持久走の練習をします。また各種大会へ参加します。質の高いソーラン「TOYOTAソーラン」の年間実施をします。
5. 体験を重視し、コミュニケーションを大切にしたい学校
豊かな自然や、あたたかい地域の中で体験を重視した教育を行います。小規模だからできるコミュニケーションを大切にしたい教育を展開します。

本校は地域性や規模から道徳性豊かな「心を育てやすい学校」です。また、少人数だからできる圧倒的な人数と時数で展開する英会話の多い外国語活動、そして各児童の確かな学力の伸びを保證します。



矢板市豊田802
☎(43)0332 ④ <http://schit.net/yaita/estoyota/>
全校児童数：23人（平成25年6月現在）

数教員によるドリル指導を行うことで、漢字や計算など基礎学力を徹底的に身につけさせています。次に、放課後の児童の安心安全のため、地域の皆さんで開設する「豊田っ子ふれあいスクール」です。ここでは、昔遊びや各種の体験活動のほか、大人との交流を通して、素直な心や道徳性、コミュニケーション力を育てています。このほか、毎日行う持久走、専門講師指導による「よさこいTOYOTAソーラン」などの取り組みで、粘り強くたくましい豊田っ子を育てています。英語を学ぶなら、ぜひ豊田小に通学してほしいですね。

西小学校

自然豊かな環境の中で 一人一人を生かした
心潤うきめ細やかな教育活動



◆「でとに学習」で確かな学力の向上



◆「3つのあ」の実践で豊かな心を



◆西の森ふれあいスクールが児童の放課後をサポート



◆「辞引き学習」で自ら学ぶ学習習慣



◆湿地園に地元の方による木道が完成



◆「ナウマくん」の取り組みで体力の向上

「多くの成功体験から小さな自信を育て 大きな自信へと」

めざせ三慣(冠)王！

1の学び・・・
学校教育目標「たしかな学力をもった子」
【確かな学力の向上】
学習の基準を「でとに学習～自分◎ みんな◎ 先生◎」として、基本的な学習習慣を学びます。「漢字検定（漢検）」にチャレンジします。「辞引き学習」（辞書を積極的に使用）を行います。

2の学び・・・
学校教育目標「自分もみんなも大切にできる子」
【豊かな心の育成】
生活の基準を「3つのあ～あんぜん あいさつ あとしまつ」として、基本的な生活習慣を学びます。

3の学び・・・
学校教育目標「心もからだも健康な子」
【体力の向上】
健康の基準を「ナウマくん～あんどもかんで ①んどう ②まいにち」として、基本的な健康習慣を学びます。



矢板市幸岡1498-1
☎(43)0263 ④ <http://schit.net/yaita/esnishi/>
全校児童数：54人（平成25年6月現在）

平成21年3月、全日本学校関係緑化コンクール学校環境緑化の部で「特選」を受賞。緑豊かな環境のもと、「学習習慣・生活習慣・健康習慣」の三つの習慣を身に付け、自主性を育てることで、成功体験の場を数多く提供し、児童の力を伸ばしています。

西小の特徴は、「一人一人に小さな自信を育てる学校」をめざし、授業はもとより、校庭にある西の森パークを活用した野外学習や各種の体験活動を積極的に取り入れていくことです。「成功体験」の場を数多く持たせ、自尊心を高め、「大きな自信」を育てることを目的としています。また、子どもたちには「自分で 自分から」を合言葉に「三つの学び」の習慣づけを図っています。



平野 見一 校長

この三つの学びの習得には、子どもたちにより分りやすく学び方を浸透させるため、それぞれに合言葉をつくり、これを毎日、各場面で繰り返し行うことで、一人一人に徹底した学びを習慣づけています。小規模校のメリットは、一人の児童が多様な体験活動ができることや教職員や地域の皆さんの多くの目が行き届くことです。これに加え、西の森パークなど豊かな自然環境に恵まれ、今年度から放課後の児童の安全安心な居場所づくりのために、西の森ふれあいスクールが開設されるなど、十分な教育環境が整備されており、ぜひ、西小で多くの成功体験を積み重ね、「小さな自信から大きな自信」を育ててほしいと願っています。